

テーマ	ガイダンス
-----	-------

1. 授業日程

	年月日	内容
1	2013/4/12 (金)	工業簿記と原価計算の基礎 原価計算の目的と分類
2	2013/4/19 (金)	材料費の計算 材料受入価格差異
3	2013/4/26 (金)	労務費・経費の計算 定時間外作業手当の計算、外注加工賃の処理
4	2013/5/10 (金)	単純個別原価計算 実査法変動予算、ロット別個別原価計算
5	2013/5/17 (金)	部門別個別原価計算 (Ⅰ) 複数基準配賦法
6	2013/5/24 (金)	部門別個別原価計算 (Ⅱ) 相互配賦法 (連立方程式)、階梯式配賦法
7	2013/5/31 (金)	個別原価計算における仕損の処理 代品製作
8	2013/6/7 (金)	単純総合原価計算 非度外視法
9	2013/6/14 (金)	工程別総合原価計算 非累加法
10	2013/6/21 (金)	組別・等級別総合原価計算 単純総合原価計算に近い等級別計算
11	2013/6/28 (金)	連産品の計算 物量法、市価法、修正見積正味実現価額法
12	2013/7/5 (金)	標準原価計算の基礎 修正パーシャル・プラン
13	2013/7/12 (金)	標準原価計算における減損・仕損の処理 第 1 法、第 2 法、配合差異、歩留差異
14	2013/7/19 (金)	工程別標準原価計算 追加配賦
15	2013/7/26 (金)	標準原価差異の会計処理 ころがし計算法

2. テキスト

- 「サクッとわかる日商 1 級工業簿記・原価計算 1 テキスト【改訂二版】」ネットスクール(株)
- 「サクッとわかる日商 1 級工業簿記・原価計算 2 テキスト【改訂二版】」ネットスクール(株)

3. 出席・成績評価

- 期末試験、出席認定（復習問題の正答率）をもとに成績評価する。
- 出席は、毎回授業始めに行う復習問題の正答率 70%を目安に認定します。

4. 履修に際して

- ✧ シラバスにもあるように、この授業は日商簿記検定 2 級の知識が不可欠です。授業は、すでに 2 級までの内容を理解している前提で行いますので、知識に自信のない方はご遠慮頂くようにお願いします。
- ✧ 授業内容は、広範囲にわたり内容も難しいものになります。単純計算でこれまでの簿記の授業の 3 倍のスピードになります（1 回につきテキスト 50 ページ程度進みます）。時間の制約上、問題演習は授業内にできないため、授業後に毎回 3 時間以上の復習は不可避です。どうか安易な履修は避けてください。
- ✧ 以上のように、通常の授業より、格段に単位取得が難しい授業です。出席が見込めない、復習を持続できない方はご遠慮頂くようお願いいたします。
- ✧ 原価計算では、座席指定をして授業を行います。履修者が確定次第、座席表を作成・配布し、毎回指定された席で授業を受けてもらいます。
- ✧ 履修はするが出席はしないという方（簿記検定 1 級取得済みの方、自学自習で行う固い決意の方など）は、4/26（第 3 回）までに申し出てください。出席は免除します。その場合、成績評価は最後の期末試験のみで行います。